



私たちの
町議会

びらとり



▲平取町の知られざる風景（マカウシの滝） 撮影者 船越光次氏

ここが聞きたい **一 般 質 問** P 2

行政報告・教育行政報告 P 4

委員会報告 **～質疑応答～** P 5

審議した議案
第 10 回定例会 P 10

あの人に聞く P 12

vol.102

2020.2.7



ここが聞きたい

一般

質問

質問

質問

12月定例議会では、4名の議員から4件の一般質問がありました。

井澤 敏郎 議員

アイヌ図書・資料の利用連携と蔵書の充実

問 アイヌ関係図書・資料は、各施設においてデータとして整理されているが、相互の情報が共有されていない事が調査によって分かりました。今後、町内施設のアイヌ関係図書を一括してデータ化し、町内外で利用出来るシステムを構築すべきと考えますがいかがか。

答 (生涯学習課長)
図書館にはアイヌ図書と平取町の関係資料合せて2千冊を超える所蔵があります。それぞれの施設の蔵書データを図書館に提供してもらい、利用に供することは今後検討して行きたいと考えています。

問 アイヌ関係事業促進の一環として、松浦武四郎の文献や古絵図など希少本の充実を図ることも必要と考えるがい

かがか。また、各施設との連携構築や蔵書の充実のためにアイヌ交付金を活用出来ないか伺います。

答 (生涯学習課長)
希少本の充実の必要性は理解しています。しかし、高価なものについては予算的に難しい状況ですが、今後検討していきたいと思っています。また、交付金の活用についても大変重要と理解していますので、国と協議していきたいと考えています。



▷町立図書館郷土資料コーナー

菅野 志朗 議員

二風谷コタンの防火体制は

問 二風谷コタン内に9棟のチセがありますが、その防火対策として、一棟毎の固定式放水銃の設置や屋根などへの防火剤塗布をすべきと考えますがいかがか。また、9棟のチセへの火災保険の加入の状況を伺います。

答 (文化財課長)
二風谷コタン内を令和元年7月から禁煙とし、火災の予防に力を注ぐとともに博物館の中に移動式の大形消火器を設置し防火に備えています。ご指摘にあった放水銃の設置については、博物館周辺の水道管の圧力が低いこと、屋根や壁への防火剤塗布についても、技術がいまだ確立されておらず、双方とも難しいと考えます。さらに令和2年度から、9棟のチセの漏電検査を年1回行つべく予算要求をしているところです。



△チセ遊歩道から

答 (アイヌ施策推進課長)
町所有の4棟は平取町で、アイヌ民族文化財団所有の5棟は同財団が火災保険に加入しています。

金谷 満 議員

今後の病院経営 改善策は

問 平成30年度の決算で純利益839万2千円が計上されていますが、一般会計より3億2500万円が繰入れられており、今後もこうした多額の繰入れが継続した場合、町の財政運営にも大きな影響を及ぼすと考えられます。その為にも効率的な経営計画が必要と思われませんが改善策を伺います。

答 (病院事務長)

経営改善計画は重要なことと認識しています。これまでも改善策として改築を見込み、病床も一般病床のみとして看護師人員などを減らし人件費削減を図りながら経営改善策を講じています。今年度につきましては、新しい病院での医師体制も変わり、診療体制も徐々に確立されてきましたので、さらなる改善計画を講じていきます。

答 (町長)

一般会計からの繰り入れ金が3億2500万円となっていますが、救急病院の指定を含め1億6950万円が交付税・特別交付税として算入されており、町の実質的な支出は1億5550

万円となっています。当然のことながら、病院は単年度収支の黒字を目指すべきだと思っています。今後も日高地区の地域医療構想を踏まえ、新たな病院機能の見直し、経営の改善に取り組んでいきたいと考えています。

平成30年度国保病院決算の状況

繰入金（一般会計から病院会計へ）		(A)	3億2500万円
国から一般会計へ交付税算入される分	普通交付税 (救急指定病院分等)	(B)	9276万円
	特別交付税 (病床数、医師派遣等)	(C)	7674万円
実質、町の持ち出し分 (A) - (B) - (C)			1億5550万円



△平取町立国保病院

問 6月の定例議会の一質問で「午前の受付時間15分短縮については院内協議をする」との答弁がありましたが協議後の結果を伺います。

答 (病院事務長)

協議の結果、患者さんを極力12時過ぎまで待たせないようにすること、午後の診療を1時から始めることに支障がないようにと考え、引き続き11時15分までの受付にしました。

問 固定資産減価償却調書を見ますと、大方の医療機器等が新規購入されていますが、既存の償却資産と備品の除却についての基本的な考え方を伺います。また、耐用年数がまだ残っている数台の電動ベッドが廃棄されているのは何故か。

答 (病院事務長)

医療機器と備品につきましては、使用可能なものは出来るだけ使用して、耐用年数の過ぎたものは改築に合わせ入れ替えをしています。使用しない機器等は除却しました。電動ベッドは機種の入替えにより、業者が買い取り、その後、平取福祉会に寄贈をしたと聞いています。



藤澤 佳宏 議員

次期町長選挙 出馬について

問 令和2年6月実施予定の任期満了に伴う次期町長選挙への出馬について、川上町長の意向を伺います。

答 (町長)

令和の時代を迎え、新しい発想と感覚でスタートするためにも次の世代に引き継ぐ時と考え、任期満了をもって退任したいと考えています。最後の一日まで平取町の発展に全力を尽くします。

行政報告

要望経過について報告がありました。

*自由民主党移動政調会において7点の要望項目があり、中でも特にアイヌ政策推進法の施行に伴う新交付金の運用については、弾力的な運用を強く要望しました。

*緊急を要する案件という事で日高総合期成会として、日高自動車道の静内インターチェンジから三石間の予算確保を道選出国会議員へ要望しました。

*当町の障がい者支援施設すずらんの整備については、開設より35年が経過し極度の経年劣化が進んでいます。また、入所者の高齢化などにより施設全体の大規模改修が急務となっていることから令和2年に実施できるよう道保健福祉部に要望しました。

*道南バス(株)に対し乗務員、運転手不足、採算ラインを大幅に下回る収支などの理由による高速特急日高号の路線廃止に対し、性急に廃止せぬよう強く要望したところ、特急ひだか号については当面の間、運行を継続するとの約束を得ました。しかし高速日高号に関しては乗務員が見つかるまで休止する事になりました。

教育行政報告

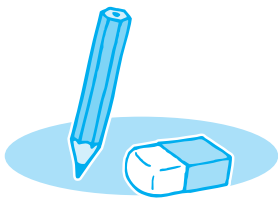
令和元年度全国学力、学習状況調査結果についての報告がありました。

令和元年4月に行われた小学校における結果は全国、全道に比べ国語算数ではマイナスポイント、日高管内との比較ではプラスになっています。

領域別にみると国語「書くこと」では全国平均を上回り、算数「数と計算」で全道平均を上回っています。

中学校においては全国、全道、日高管内との比較ではすべてプラスになっており、特に今年から始まった英語の「話すこと」に関しては全国に対しプラス20・2ポイントと非常に高い数字となっています。

学力学習状況調査の結果を踏まえ小中学校ともにポイントが上がってきている認識を持っています。さらに学力の向上を目指すべく標準学力調査CARTを実施し、一人ひとりの学力を見極めるとともに、経年度の課題を分析対応し、学力向上策を推進していきます。



謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。令和2年の幕開けを健やかにお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

私たち広報担当委員は、議員一人ひとりが、議会、各委員会等において何を発言し、各案件に対し賛成したのか反対したのか、一般質問においても、出来る限り紙面をさき、発言者の意志が伝わる様に努めて参りましたし、この事を第一に編集していきたいと思っています。更には町政がどう行われ、どう進んで行こうとしているのか、分かり易く伝えるべく、日々研鑽を積んで参ります。

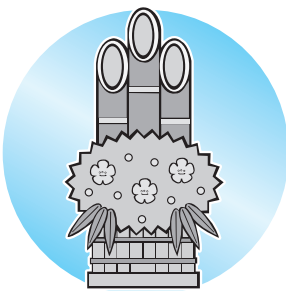
今後も皆さまに愛読される広報紙となる様、努めて参りますのでご支援をお願いし、年頭の挨拶とさせて頂きます。

広報広聴特別委員会
 広報担当委員



《委員長》

櫻井 幹也
 金谷 満
 中川 嘉久
 木村 英彦
 萱野 志朗
 井澤 敏郎





△建設中の平取ダム

議員全員協議会

10月30日開催事務調査の一部についてお知らせします。

10月30日開催

事務調査事項

◆平取ダム視察

平取ダムの進捗状況について、現地確認を実施した。令和4年の完成に向けて、工事は順調に進められています。二風谷ダムと比較して堤高で1・7倍、湛水面積で0・7倍、総水量において1・5倍と改めて確認をし、現地において説明を受けました。

会議事項

◆会計年度任用職員制度について

厳しい地方財政の状況が継続する中、増大する行政需要に対応するため、臨時・非常勤職員数が増加しました。また、社会問題となっていた「官製ワーキングプア」解決のため、臨時・非常勤の適正な任用の確保と勤務条件の明確化を図るため、平成29年度に地方公務員法の改正が行われ、今回新たに会計年度任用職員（フルタイムやパートタイム）として待遇改善がなされることになりました。なお、実施については、令和2年4月からなっています。（総務課）

Q 給食調理員について、以前も議会で議論になった。退職者が出た時点で、派遣に切り替えていくとあったが、依然として町採用と民間派遣の調理員が同じ職場にいるという事で不都合が起これると思うがいかがか。

A 人材の確保が難しいという面もあり現状となっているが、どうしても同一条件、同一環境で働くことが出来るか考えていきたい。（鈴木）

総務文教常任委員会

11月18日開催
事務調査の一部について
お知らせします。

11月18日開催

報告事項

◆令和元年度全国学力・学習状況調査結果について

全国学力状況調査（小6・中3）については、小学校は全国・全道と比較してやや低い状況であり、特に国語の「話すこと」や算数がマイナスポイントとなっています。中学校では、全国・全道と比較して全てが、プラスポイントになっており、成績が伸びている状況です。（生涯学習課）

Q 中学校の成績の伸びの要因はどのようなに考えているか。

A 各学校の指導の成果と義経塾の効果が出ているものと判断しています。（井澤）

◆令和元年度普通交付税の算定状況について

令和元年度の普通交付税の決定額は25億6千万円となっており、対前年度対比2・2%の増となっています。（総務課）

Q 交付税は国政調査が基準となるが、著しい人口減少のための影響は出ないのか。（千葉）

A 交付税の算定は国勢調査の人口によって大きく変動するが、ダム事業関係者、農業研修の中国人などにより大きくは変動しないものと考えているが、人口流出を食い止める対策を取りたいと考えています。

◆令和元年度行財政改革の検討状況について

使用料及び手数料につきましては、平成20年度から改定をしていない状況で、昨年度より統一した基準を設けて見直しの検討を行っています。また、現在の定員管理計画については令和2年3月で終了するため、新しい計画策定に向けて職員の配置や業務量、年齢及び役職構成などを検証し、採用や退職を含めた職員数について協議していきます。（総務課）

Q 使用料の改定について、集会施設の検討も行っているが、受益者負担は伴うのか。（西川）

A 集会施設の受益者負担については、考えていません。

Q 課及び係を新規に設置するとなると当然にして人件費の増加が懸念され、行政改革では、過去に大課制を含め検討するとして打ち出しているが、どのような考え方が伺う。
(高山)

A 経常的な経費も会計年度職員制度改正に伴い増加する分もあるが、経常費の適正規模を考えながら、兼務や進むべき事務のあり方について検討していかなければならないと考えています。

協議事項

◆会計年度任用職員制度関連条例等の制定と一部改正について

地方公務員法の改正により、臨時及び嘱託職員の待遇改善を図るもので、それぞれ会計年度任用職員及び任期付職員となります。このためそれぞれの条例を整備するものです。

(総務課)

Q 任期の更新時には本人の同意もさることながら、人事評価は特に難しいと思われるがどのように考えているか。
(高山)

A 人事評価をするということが会計任用職員制度の趣旨にもありますのでしなければなりません。担当課長が全て行うという事については非常に難しく、簡易なものにしたいと考えています。ただ不公平感などが生まれない

様に今後検討していきます。

Q 配置職員数の再検討とあるが対象職員が250名にものぼり、過去の検証を活かし、しっかりと検討すべきだが、今年度中に行う事が出来るのか。

(櫻井)

A 毎年、行政改革の会議で協議していますが、令和2年度から5ヶ年の定員管理計画策定に向けて検討します。

◆二風谷地区街なみ整備促進事業について

「二風谷地区再整備計画」に基づく整備が行われている二風谷コタン周辺地区の街なみ整備事業の一環として、景觀に配慮してルールに沿った周辺建屋の外観修復等を行う場合、60万円を上限に対象事業費の3分の2が補助金として交付されます。
(まちづくり課)

Q 二風谷地区では、「匠の道」がまだ整備されていませんが、出来れば地域全体で建築協定を結ぶとか、一定程度方向性をもって進めていかないと、パッチワークみたいな街なみになってしまつことも想定されますので、行政と地域の積極的な協議が必要と思われるがいかがか。
(櫻井)

A 二風谷地区街なみ整備事業として、まだ、コタンのサインの整備も予定していますし、パッケージとしてエリア

を区切って街なみ整備を進めていきたいと思っています。次の整備は「匠の道」と思っていますので、さらに地域と協議をして整備していきたいと考えます。

Q この事業で2、3件が実施しても大きくは景觀が変わらないと思いますけれど、今後の事業展開はどのように考えていますか。
(四戸)

A 事業が始まればかなりなので、今後も一体感のある街なみとなるよう努力をしていきたいと考えています。

産業厚生常任委員会

11月19日・12月17日
開催事務調査の一部についてお知らせします。

11月19日開催
報告事項

◆芽生牧野ヒグマ経過報告について

9月3日に芽生の町営牧場内で放牧中の牛がヒグマに襲われ、土に埋められる事故が発生しました。9月4日に猟友会により箱罠を設置し、被害現場の周辺を巡回しています。近くの有刺鉄線から体毛を採取し、遺伝子試料として総合研究機構へ送付しました。その後、捕獲用くくり罠を増やしたところ、9月15日と20日にヒグマを捕獲し

ましたが、遺伝子が一致しなく、牛を襲った問題個体であることの確証を得ることはできませんでした。(町民課)

Q 既に箱罠等も引き上げている状況と聞けが、捕獲するための協議と今後の対応策を伺います。
(鈴木)

A 今回、同地域で別々の個体が捕獲されたということで、かなり頭数の多い場所だという事が改めて分かりました。今後、その辺りの牧区の使用方法や駆除についても来年度に向けて猟友会と相談し対応を決めたいと考えています。



△二風谷コタン入口

◆北新病院（整形外科）との連携について

札幌にあります社会医療法人会北新病院（整形外科）と11月から患者紹介の連携をしています。整形外科の受診を希望する患者さんは、必要に応じて北新病院を紹介させて頂くことになっています。受診日は、月曜日が上肢関連、木曜日が脚関連として、送迎は全て北新病院が対応します。またリハビリ等の治療については当院でも可能と報告がありました。

（国保病院）

Q 平取町立病院に医師を派遣してもらい、町民が受診できる形が本筋だと思いが十分に検討されたのか。（鈴木）
A 整形外科医の医師は紹介していたが、病院側の体制と医師の日程が整わなかったのでお断りした経緯があります。

Q 高齢患者の慢性的な疾患の治療をする事は、地域の病院の役割でないかと思うがいかがか。（金谷）
A いろいろな状況の中で当面の対策として支障のないような形で対応させていただき、近い将来、常勤の医師を招聘することも視野に入れ、経営のことも勘案しながら検討します。

協議事項

◆産地パワーアップ事業（ICT技術導入による生産支援）の実施について

この事業は平取町農業協議会及び取引主体となる生産者有志によるICT技術検討部会において協議を行い、トマト栽培技術をICT（環境モニター）によりデジタル化を図り、併せて対応する環境制御機械（ハウス自動換気・自動灌水装置）を導入するものです。そのことにより生産性の向上と作業の省力化に伴う労働時間の短縮などの経営コスト縮減が図られ、国費補助率2分の1で導入を予定しているとの説明がありました。（産業課）

◆アイヌ農林漁業対策事業実施に伴う支援について

この事業はアイヌ農林漁業家へ生産基盤及び近代化施設の整備を行うことで農林漁業の生産性向上、アイヌ従事者の所得増加、労働負担の軽減を目指し、就労機会の安定化と担い手の確保を目的として実施しています。今年度、採択要件である受益戸数・受益割合が一部緩和され、事業主体についても法人経営等の組織が補助対象となる旨、改正されました。これを受け、現在一林業事業体より要望及び事業計画の提

出があり、現在、国との協議中です。承認後は国及び道からの支援のほか、当町の林業の普及とアイヌ林業家の所得向上のため、町からの支援もあるとの説明がありました。（産業課）

◆集落営農体制強化支援事業の実施について

この事業は転作田を含む農地の適正な管理を促し、機械設備の共同購入管理及び農作業の協同化、経営所得安定対策等交付金を活用した高収益作物（加工用米等）への転換を促すことで水張面積の維持・増加と農地の適正管理を図ることを目的に計画したところ、2地区の機械利用組合から申し入れがあり、道費補助率2分の1以内で対象機械等の導入を予定しているとの説明がありました。（産業課）

12月17日開催

報告事項

◆平取町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

幼児教育・保育の無償化に伴う子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、令和元年5月31日に特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改



△購入予定のコンバイン

正する内閣府令が公布されました。そのため町の条例についても、幼児教育・保育の無償化に伴う食事の提供に要する費用の取り扱いの変更や用語の整理その他所要の改正の説明がありました。（保健福祉課）

◆奥地林道一風谷線の災害復旧にかか

る処理について
奥地林道一風谷線は、民有林の適切な森林整備及び保全を図る目的で、二風谷ファミリールランドから貫気別・荷負本村地区農道橋まで、総延長8・5kmの区間を平成13年から令和8年完成に向けて、北海道が代行で整備を進めています。既に町に移管された区間で、降雨と地震の影響による地すべりが発生をし、不通になったため、国の災害復旧事業の認定を受け、令和3年3月までに復旧する計画であるとの説明がありました。（産業課）

アイヌ文化伝承推進 特別委員会

11月25日開催
 事務調査の一部について
 お知らせします。

11月25日開催

報告事項

◆貝澤雪子氏が11月5日ホテル札幌
 ガーデンパレスにて北海道文化賞を
 受賞しました。

◆平取町アイヌ文化伝承館「ウレシバ」
 の利用状況について

本年4月に開設以来10月までに延べ
 4364名、1日平均20名強の入場者
 がありました。工芸体験者はペンダン
 ト570名、タンブラー93名、マグボ
 トル46名でした。

◆令和元年度二風谷地区再整備事業の
 進捗状況について

二風谷コタンの休憩施設「アリキキ」
 の4月から10月の利用者合計は延べ8
 819人でした。また、令和元年度二
 風谷コタンの整備が終了し、周辺の家
 屋の修景事業や看板整備を街なみ整備
 事業として行うものです。



△二風谷コタンの休憩施設「アリキキ」

◆アイヌ施策推進交付金対象事業別予
 定表について

全事業で1億4611万3千円です。

①精神文化拠点施設（慰霊塔）整備事
 業

アイヌ遺骨を納骨する施設の建設

②アイヌ工芸体験交流事業

アイヌ工芸伝承館（ウレシバ）での
制作体験事業の実施

③イオル文化交流センター建設事業

アイヌ文化環境保全センターの建設
（基本設計費）

④アイヌ工芸品制作機器導入事業

木工旋盤機、レーザー彫刻機、UV
プリンターなどの購入

⑤アイヌ文化のブランド化推進事業

現代的なデザイナーとの共同による
アイヌ文様の商品開発等

⑥21世紀・アイヌ文化伝承の森プロ
ジェクト

⑦国際交流事業

海外派遣事業（ニユージールランド）

⑧博物館民具撮影事業

⑨イギリスのジャパンハウス派遣事業

⑩観光プロモーション事業

⑪アイヌ文化情報発信事業

全道PKグランプリでTシャツ等を
配布

⑫アイヌ文化の魅力発信事業

二風谷コタン周辺において体験型工
ンタータイムメントの実施

⑬アイヌ文化×食×回遊コンテンツの
磨き上げ事業

⑭アイヌ文化・交通拠点ネットワーク
形成調査事業

車両購入2台（アイヌ文様ラッピング）

⑮学習支援事業

義経塾の運営委託

◆平取町文化的景観保護推進事業につ
いて

平成19年に平取町が初めて選定され
 てから、現在第4次選定に向けての事
 業が行われています。いずれの事業も
 文化庁から2分の1の助成を受けてい
 ます。



△デマンドバス

①自然的環境調査業務（委託業務）

775万8千円

②活用普及啓発事業支援業務（委託業
務）

538万円

◆平取町アイヌ総合政策に関する基本
計画の策定について

平成22年3月に平取町アイヌ文化振
 興基本計画が10年間を目標に策定され
 ました。本年5月のアイヌ施策推進法
 の制定を見て、平取町第6次総合計画
 との整合性を図りながら作業を進めて
 います。

Q 国際交流の渡航費に現在の伝承者が対象とならないのは、どういう理由か。 (鈴木)

A 国際交流の補助費の要件が学生や高齢者となっているためです。随行として伝承者が行けるように国と交渉しています。

◆令和元年度アイヌ文化保全対策事業の実施状況について

道開発局と平取アイヌ協会と平取町の三者により、現在建設中の平取ダムとその周辺の保全も含めた整備方法について協議を進めています。アイヌ語地名の学習ツアーや沙流川の河道掘削の事前調査を進めています。

Q 河道掘削した場所にカヤやガマを移植して育てる計画がありました。検討会の時までにまとめて置く必要があると思いますが。 (木村)

A 調査報告書の中に盛り込みたいと考えています。

Q 宿主別橋手前の道道付け替え工事の時にカシワの大木を移植しましたが、その後の生育状況は調査記録されているのか。 (井澤)

A 移植したものは対策室でモニタリングして継続確認しています。

◆イオル再生事業について

空間形成事業の一環として、カヤやガマとオヒョウ樹皮の採取やポロチセの整備等を行っています。また、試験栽培事業として、水辺空間を利用したカヤの栽培試験や雑穀畑でのイナキビやアフ、ヒエの栽培と収穫を実施しています。管理運営事業としては、イオル推進事務所において、情報発信や制作した伝統工芸品の展示をしています。

Q 札幌市の茨戸川まで行つてガマを採取していますが、平取の適地に移植して栽培する事はできないのか。 (鈴木)

A 本町の水辺空間でカヤを栽培していますが、水深の問題や病害虫などにより、良い素材が採れない状況です。今後、町内で新たなエリア探し、栽培地を拡充していく計画です。



△茨戸川でのガマ採取



△穀物栽培



▽オヒョウ樹皮採取

協議事項

◆委員長提案案件

アイヌ施策推進法の施行によって文化振興に限定されていたものが、広く施策を進める事になったので、当アイヌ文化伝承推進特別委員会、アイヌ施策推進課、アイヌ文化振興推進協議会等の名称を適切なものに変える必要があるのではないかと委員長から提案があり協議した。

▼文化とついている文言は外して、推進、振興の文言は残す事が良いのではないか。 (松澤)

▼今年度末までに新しいアイヌ基本計画が策定されるので、その中でそれぞれの名称を検討してはどうか。 (木村)

▼委員会の名称変更については、アイヌ基本計画の策定を待つて、次回委員会で検討します。 (委員長)

政策会議

12月18日開催

井澤議員より「常任委員会および特別委員会に新たに視察研修費が必要であり、予算措置すべき」との提案があり、会議が行われました。

▼まず研修目的を明確にすべきで、研修ありきという考えを持つべきではない。問題課題が出てきた場合に政策会議で取り上げ、必要と認められた場合に限り予算補正をすべきと考えます。 (高山)

*他の委員からも同様の意見が出て最終的には予算も含め政策会議において決定することとした。

審議した議案

第10回
定例会
 令和元年
 12月17日
 ~18日

▼平取町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙（任期満了による選任）

◎委員

川上憲司氏（岩知志）

互野勝弘氏（貫気別）

三神玲子氏（本町）

香田文雄氏（紫雲古津）

◎補充員

青木 治氏（振内町）

粒来高史氏（貫気別）

宇南山嘉宣氏（本町）

中田さつき氏（去場）

▼条例の制定及び改正

・平取町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

・職員の給与に関する条例の一部改正（人事委員勧告に関連する改正）

・平取町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

Q 職員の共済組合・退職手当組合へは初年度から加入となるのか。（井澤）

A 制度上、令和3年度からの加入となります。ただし退職手当組合は令和2年度にさかのぼった加入となります。

Q 退職一時金制度が廃止され、パートタイム任用職員は退職手当組合にも加入できず、待遇の改悪となるので検討する考えはないか。（鈴木）

A 国の基準としての制度はありませんが、今後、検討させていただいて適切な対応をしていきたい。

▼工事請負契約金額の変更

①奥地林道又タツプ線災害復旧工事

【1億8079万2千円→（1・2・3号箇所）

1億8079万2千円→

1億8914万5220円】

②奥地林道又タツプ線災害復旧工事

（12・13・14号箇所）

【1億1556万円→

1億2112万2040円】

③旧町立病院外解体工事

【1億3420万円→

1億3692万8千円】

▼一般会計補正予算（第10号）

1億2245万7千円を追加。

・人件費等の補正 750万円

・デマンドバス車両経費等 1060万円

・民間賃貸共同住宅整備費助成金 △1460万円

・空家等対策推進事業 85万円

・国際交流支援事業 200万円

・ケアハウスしずか改修事業 2300万円

・後期高齢者医療療養給付費負担金 205万円

・平取町アイヌ工芸伝承館用備品 1771万円

・エゾシカ捕獲駆除奨励金等 1076万円

・産地パワーアップ事業補助金 1940万円

・集落営農体制強化支援事業補助金 1770万円

・アイヌ農林漁業対策事業補助金 5349万円

・国民健康保険病院特別会計繰出金 △2800万円

▼国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

資本的収入予算科目の組み替え

・一般会計繰入金 △2800万円

・病院改築事業企業債 2800万円

▼平成30年度の決算を認定

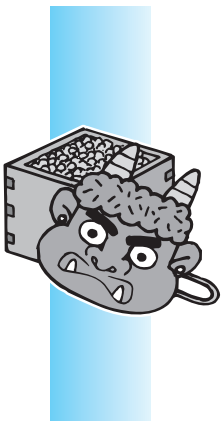
【決算審査特別委員会報告】

○国保病院特別会計

平成30年度決算においては、経営健全化の指標となる資金不足比率については算定されないなど、ある程度良好な状況にあると認められる。しかし、様々な要因により入院患者は減少しており、一般会計からの収益的収支の繰入金については3億2500万円と依然高額で推移し、厳しい経営状況が続いている。

医療ニーズの多様化や診療報酬の改定など地方の公立病院を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。地域に密着した医療サービスを継続していくため、効率的な経営計画をもつて将来を見据えた事業展開をさらに進められることを望む。

安定した地域医療体制の構築という点では、奨学資金貸付制度の積極的な啓発により医療スタッフの確保、地域人材の有効活用とともに職場環境の待遇改善も図りながら、人的な面で安定した病院経営、さらには新病院院舎が完成し、町民のための病院という意識で町民から信頼される安全で安心な医療が提供できる病院となるよう強く希望する。



○一般会計及び各会計

各会計の決算状況については概ね良好な内容となっている。特に一般会計については、基金の取り崩しと町債の借入れを最小限に抑え、健全化判断比率について、実質公債費比率が4・4%、将来負担比率については38・1%と算定されたが、健全な財政状態を示している。

しかしその一方で、経常収支比率においては、87・6%と、対前年度比で3・9ポイント増と、依然として高い数値を示し、低い財政力指数と合わせ、引き続き財政構造の弾力性において注意が必要な数値となっている。

びらとり温泉、国保病院改築事業に伴う起債借入れの償還が始まり、将来的には老朽化による各施設の改築など、多くの投資的事業が見込まれる。限られた財源の中で地域振興と住民の福祉向上のために、引き続き歳出全般を見直したうえ、将来に向けて持続可能な財政運営を望む。

収納関係については、口座振替の奨励、夜間納税窓口の毎週開設、収納対策会議における各課連携などの鋭意努力とともに、債権管理条例に基づく適正な執行もあつて、歳入全般において収納率が向上しており、担当各位の努力は大いに評価されるものである。

ただ、平成30年度の決算における歳入全体の収入未済額は繰越明許等を除き、1億3609万円で特に町営住宅

使用料やアイヌ住宅改良資金貸付金元利収入の未納額は依然として高額で推移している。未納者への納入催告と戸別徴収は当然ながら、契約により保証人を付している債権については保証人への通知を行うなど、定期的な訪問も積極的の実施するなど、お互いの信頼関係を築きながら速やかに未納が解消されるよう、さらなる徴収方法の工夫改善を願うものである。

平成30年度国保病院特別会計決算状況（収益的収支）

収 入	医業収益	2 億 9312 万円	支 出	医業費用	6 億 2889 万円
	医業外収益	3 億 4925 万円		医業外費用	520 万円
	特別利益	11 万円		特別損失	0 円
	合 計	6 億 4248 万円		合 計	6 億 3409 万円
				当期純利益	839 万円

平成30年度一般会計及び各会計決算状況

会 計 別	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越額
一 般 会 計	64億0792万円	63億4928万円	5864万円
特 別 会 計	国民健康保険	7億5754万円	391万円
	後期高齢者医療	8159万円	0円
	介護保険	4億9417万円	2136万円
	簡易水道事業	2億7706万円	79万円

簡易水道特別会計において、水道使用料の滞納額が減少傾向にはあるが、依然多くの未納額がある。

また、その他の特別会計においても収入未済額が計上されているので、公平な負担と安定した事業運営のため、一般会計同様、収納対策に万全を期されるよう強く要望する。

◆住民懇談会の開催

申し込み

平取町議会では、町民の皆様から町政や町議会に対し日頃考えていること、感じていることなどの意見を伺い、今後のまちづくりに反映させていくため懇談会を開催しています。申し込みは、個人・グループ・団体を問わずいつでも受け付けていますので、お気軽にお申し込みください。

◆申し込み先

平取町議会事務局

平取町本町28番地（役場2階）

TEL 2・2227

FAX 2・3988



あの人に聞く

～1月12日、平取町成人式にて。新成人の方たちに聞きました～

- ①20歳になって成人式を迎えた今のお気持ちはいかがですか？ ②将来の夢や目標などをおしえてください。
③町や議会に何を望みますか？ ④どなたかに一言お願いします。（親、友人、恩師など）



うの りゅうどう
鵜野 立堂 さん

- ①成人式を迎え、やっと私も大人の仲間入りができとても嬉しいです。これからは大人としての自覚を持ち、何事にも責任感を持って行動していきたいと思います。
②将来は、インターネットのホームページデザインなど行うIT系の仕事をしたいと思っています。もし全然違う仕事に就いたとしても、その中でやりがいを見つけ、楽しんで働ける大人になりたいです。また、親へ恩返ししていければと思います。
③もっと町の魅力を発信し観光地としてだけでなく住みやすい町づくりに力を入れ、今よりも活気のある町になったら良いなと思います。
④私に関わってくださった全ての方に感謝しています。特に両親には、高校時代たくさん迷惑をかけ、たくさんサポートして頂きました。そのおかげで、たくさん貴重な経験を積む事が出来ました。本当に感謝しています。



わためき のあ
綿貫 乃愛 さん

- ①「はたち」という響きにまだまだ違和感しか感じないですが、「はたち」になって自分に責任を持たなくてはならなくなったと感じるとともに、できる事が増えたので自分の可能性が広がったなとも感じます。
②小学校の頃からの夢である水族館の飼育員になることです。今はそのために北海道を出てお魚の勉強をしています。プライベートでは、色んなところに旅行に行きたいです。第一歩として20歳になってすぐパスポートを取ったので、たくさん行きたいところに行って、広い世界を自分の目で見たいと思っています。
③個人的にはこのまちが大好きなので、これからも変わらず、このあたたかいまちを守ってほしいです。
④振内でわたしを育ててくださったみなさまへ
ここにはとても書ききれませんが、生まれた時から、時に厳しく、時に優しく、わたしに接して下さって本当に感謝しています。中学校を卒業してから地元を離れて、1人でがんばるのは、地元でわたしの夢を応援しながらも、「いつでも帰ってきていいんだよ」と言ってくれるみんながいるからです。本当はいつもみんなに会いたいです。ずっと支えてもらってばかりですが、これからもよろしくお願いします。だいすきです。



せきね まや
関根 摩耶 さん

- ①幼少期にとっても大人で立派だと感じた20歳の歳に自分もなり、これからは何事にも責任を持って取り組みたいと思います。また、今まで私を支え育ててくれた地域の方々や家族にも少しずつ恩返し出来るよう一生懸命、私自身楽しみながら行動したいです。
②具体的には決まっていますが、人に信頼され求められる人になりたいと考えています。そのために今できる事を考えながら生活を送ることで、私だからこその役割を模索し、一つ一つ夢に向けて頑張りたいです。そしてまずは、私の好きなアイヌ文化を楽しみながら多くの方に知ってもらいたいと思っています。
③平取町に深く根付くアイヌ文化を知る機会や場を設けることで、地元への誇りを持つことが出来るような環境が増えることを期待しています。また、私が帰省した際にも温かく迎え入れてくれる平取町が好きです。
④祖母（貝澤雪子）へ
小さい頃からずっとおばあちゃん子だった私を、喧嘩しながらも本気で育ててくれてありがとう。ばあちゃんに負けないように摩耶も頑張っていくから、まだまだ未熟な20歳だけどこれからもよろしくお願いします。今年はいっぱい山菜とり行こうね。

